

# Fujitsu Forum Munichレポート



今回は南ドイツ・バイエルン州の州都・ミュンヘンで毎年開催されるFujitsu Forumの内容を紹介します。欧州でより多くの方に富士通を知ってもらうため、毎年開催している展示会です。



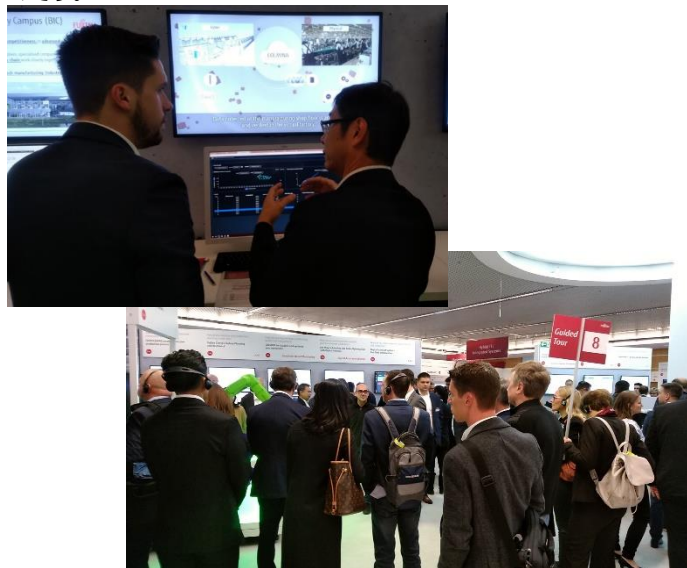
日系IT企業が欧州で実施するなかでは最大級で、現地の高速道路案内にもイベント名が表示されるくらいの規模で行われます。

多くの企業にもスポンサーとなって頂き、ミュンヘン国際展示場の一角を貸し切り、今年は11月6日～7日の2日間で開催しました。富士通の製造業ソリューションを紹介するコーナーには来春にドイツでリリース予定のCOLMINA V2L2を展示しました。





今年の製造業ソリューションのテーマは「ものづくりでより柔軟な対応を行えるソリューション」です。オープンプラットフォームの上で、豊富な課題解決型シナリオを用意しているCOLMINAのためのようなテーマです。



多くのドイツのお客様はデータ収集・活用されていますが、製造業の富士通が自ら実践して作り上げたCOLMINAシナリオの説明については熱心に耳を傾けられていました。

日本から支援を行ったCOLMINA部隊の説明員も大忙し。



FUJITSU Forum 2019  
COLMINA's components - an overview

**EDGE - Bridging OT and IT**

- Provides the **connection** to the **shop floor**
- Transfers data to the COLMINA platform

**PLATFORM - Managing data**

- Collects** and **Integrates** real-time data from the shop floor or other production systems
- Multiple times of **data storage** and **APIs** to accelerate data integration

**SERVICE - Utilizing data**

- Digitalizes** and visualizes every element involved in the production
- Provides tools to **analyze** and **utilize** the collected data

会場ではセミナー講演も多数行われ、「富士通のデジタルファクトリーソリューション」講演ではCOLMINAも紹介しました。お客様のスマートファクトリーの実現を私たち富士通が豊富な経験と技術をもって支援していくことを、富士通ドイツのCOLMINA部隊のメンバーが説明しました。本講演は製造領域の講演の中で最も多くのお客様が集まったものとなり、製造業大国ドイツのお客様もデジタルトランスフォーメーションには興味深々でした。



同じ製造ソリューションエリアには、9月にプレスリリースされたばかりのファナック、富士通とNTT Comの協業の構想「デジタルユーティリティクラウド」の展示も行われていました。

ファナック製のロボットと言えば黄色！というイメージですが、人が入れるエリアで稼働するロボットは緑だそうです。

富士通フォーラムは毎年日本では春、欧州では秋に開催されます。ご興味のあるお客様はぜひ足をお運びください。

#### お問い合わせ先

富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200

受付時間 9:00~17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

[www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/manufacturing/monozukuri-total-support/colmina](http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/manufacturing/monozukuri-total-support/colmina)